

第39回総合的交通基盤整備連絡会議について

1. 開催テーマ、趣旨

(開催テーマ)

地方における人口減少、高齢社会に対応した移動手段確保に係る取組

(趣旨)

- ・人口減少や高齢化の進展等を踏まえ、地域の実情に合った交通体系の構築に取り組み、移動手段の確保に務めることが必要であり、特に高齢運転者による重大な交通死亡事故発生が相次ぐなか、自動車の運転に不安を感じる高齢者の移動手段の確保等を着実に進めることが必要。
- ・よって、今後の社会情勢を見据えた地域モビリティのあり方について、学識者からの現場の実態を踏まえた講演を実施するほか、地方公共団体等において新たな発想・考えを持って利用者目線に立った地域の移動手段の確保に取り組んでいる先進的な事例を取り上げ、地方公共団体における総合交通関連施策の推進支援を目的に開催。

2. 次第 (案)

(1)開会

(2)主催者挨拶

(3)基調講演

講師：名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 加藤 博和 氏

演題：「人口減少・超高齢化をのりこえる力強い地域公共交通づくり」

概要：「おでかけ環境」提供を通じて地域に健幸をもたらすインフラとしての地域公共交通の役割が見直されつつあり、自動運転時代を展望した進化が求められている。そのために地域の関係者がどう取り組むべきかを説く。

(4)地方公共団体からの事例紹介

①事例1

紹介者：福岡県 小郡市 環境経済部 部長 今井 知史 氏

テーマ：「自治会バス『ベレッサ号』の取り組みについて」

概要：民間バス路線の廃止をきっかけに住民自ら公共交通の確保に取り組もうと始まった自治会バス事業。「自助・共助・公助」の組み合わせによる協働のまちづくり事業として、ボランティア運転手によって運行され、地域の高齢者の買い物や通院の手段として大きな効果を上げていることについて紹介。

②事例2

紹介者：岩手県 北上市 都市整備部 都市計画課 課長補佐 高橋 正貴 氏
テーマ：「北上まちなかバスターミナル～まちなか経路の統一とまちなかターミナル整備～」

概要：北上市では、市内中心部の百貨店を核とした「北上まちなかバスターミナル」を設置し、バス待合環境の改善や、まちなか経路の統一、乗継利便性の向上などに取組中。その主なものを例に、取組内容を紹介。

(5) 交通事業者からの事例紹介

紹介者：PORTO 株式会社 代表取締役社長 森戸 裕一 氏

テーマ：「佐賀県伊万里市黒川町×PORTO株式会社 2018年度実証事業～乗って楽しいエンタメコミュニティバスで人を呼び込むまちづくり～」

概要：「乗って楽しい」をコンセプトに、移動手段としてだけではなく、ドローンで撮影した佐賀県伊万里市の映像をバス内で配信することで地域の移動シアターのような楽しみをもたせる取組のほか、クラウドシステムを活用した低コストの運行管理の取組等、長期視点で地域の課題解決につなげる佐賀県伊万里市黒川町のコミュニティバス実証事業を紹介。

(6) 国土交通省からの情報提供

(7) 総評

(8) 閉会